1．科目名（単位数）	心理学的支援法（基礎）　（2 単位）	3．科目番号	SBMP2344 SSMP2344 PSMP2180
2．授業担当教員	財満　鎮人		
4．授業形態	講義、討議、発表、演習	5．開講学期	秋期
6．履修条件・他科目との関係	2年次以上、「心理学概論」または「心理学入門」の単位を修得した後に履修することが望ましい。		
7．講義概要	カウンセリングの土台となる人間の心のメカニズムについて理解し、面接中に生起する様々な現象とカウンセリングのプロセスについて基礎的な内容を学ぶ。また、カウンセラーの基本的態度や面接技法、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について、討議や演習を通して実践的に理解する。プライバシーへの配慮などの倫理的側面、精神保健や予防など心の健康教育についても理解する。		
8．学習目標	1．カウンセリングの基本的な概念やプロセスを理解し、説明できる。 2．カウンセリングの面接技法、関係者への支援等について初歩的な演習を行う。 3．カウンセリングにおける倫理的側面、心の健康教育について理解する。		
9．アサイメント（宿題）及びレポート課題	・講義前には必ず該当部分に目を通し、疑問点を明確にしてくる。 ・2回レポートを提出する（A4用紙　2枚、2,400字以上）。 1．カウンセラーの基本的な条件 カウンセラーの基本的な条件と言われる「受容」「共感」「自己一致」について、参考文献などで調べてまとめ、自分が疑問に思ったことや意見を述べなさい。また、自分にとっては三つのうちどれが一番難しいと思うかを、その理由とともに述べなさい。 2．自分が興味を持ったカウンセリング理論 授業の中では数ある理論の概要を取り上げていくが、一つを詳しく掘り下げることはカウンセリングの力量を身につけるにはとても役に立つ。そこで自分が興味をもった理論の概要を紹介し、どこに興味を持ったのか、疑問点はなにか、自分なりの意見を、文献を2、3冊参考にしてまとめる。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】末武康弘著『心理学的支援法』誠信書房、2018。 【参考書】長坂正文著『学校カウンセリングの基本技法』ほんの森出版、2000。 【教　材】随時資料を用意し活用する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	〇成績評価の規準 1．授業に熱心に取り組み、積極的に発言・発表・ノート作りをしたか。 2．レポートは、要点を分かりやすくまとめる力がついたか。 〇評定の方法 授業への参加度(学習態度、発表、ノート等)50％ レポート課題 50％		
12. 受講生へのメッセージ	・カウンセリングの流派は、数え切れないほどあるが、対話を中心とした基本的なところは共通しているといえる。まずはカウンセリングがどのようなものなのかを理解し、その後、自分に合ったカウンセリングを見つけていくこと。その手伝いが少しでもできればと考えている。 ・討議を毎回取り入れるので、積極的に発言すること。 ・授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないこと。 ・他の受講生の学習に迷惑をかける行為（携帯電話の操作、私語、居眠り、グループ活動に協力しない等）をしないこと。		
13. オフィスアワー	原則週に 2 コマを第 1 回の講義の際に指示をする。		

14. 授業展開及び授業内容

講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション（講義概要の解説） ・心理学的支援法（カウンセリング）とは ・カウンセリングに対するイメージと疑問	事前学習	心理学的支援法（カウンセリング）がどのようなものかについて理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	カウンセリングについて参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第 2 回	・現代社会と心理支援 ・心理支援，心理学的支援法とは	事前学習	テキスト pp.1～9 を読んで、心理学的支援法について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	心理学的支援法について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第 3 回	・心理学的支援法の特質 ・心理学的支援法の効果 ・心理学的支援法の限界	事前学習	テキスト pp.11～24 を読んで、心理学的支援法の特質について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	心理学的支援法の特質について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第 4 回	・心理的問題の背景や原因 ・各発達段階に見られる心理的問題 ・その他の心理的問題	事前学習	テキスト pp.26～38 を読んで、心理的問題ついて理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	心理的問題ついて参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第 5 回	・心理療法とカウンセリングの歴史的背景 ・心理療法とカウンセリングの合流と発展	事前学習	テキスト pp.40～50 を読んで、カウンセリングの歴史について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	カウンセリングの歴史について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。

第６回	・心理学的支援法の現在までの発展 ・カウンセリング／心理療法の主要なパラダイム ・カウンセリング／心理療法のさまざまな理論と方法	事前学習	テキスト pp.52～63 を読んで、カウンセリングの理論と方法について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	カウンセリングの理論と方法について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第７回	・パーソンセンタードセラピーの特質 ・パーソンセンタードセラピーの理論 ・パーソンセンタードセラピーの基本的な方法	事前学習	テキスト pp. 64～77 を読んで、パーソンセンタードセラピーについて復習しておく。
		事後学習	パーソンセンタードセラピーについて参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第８回	・カウンセリングのビデオ視聴	事前学習	テキスト pp. 64～77 を再度読んで、カウンセリングの基本的技法について復習しておく。
		事後学習	理解した内容をレポートにまとめて提出する。
第９回	・エンカウンターグループとパーソンセンタードアプローチ ・パーソンセンタードセラピーの発展的方法 ・主要なヒューマニスティックセラピー	事前学習	テキスト pp.79～92 を読んで、エンカウンターグループとパーソンセンタードセラピーの発展について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	エンカウンターグループとパーソンセンタードセラピーの発展について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第１０回	・精神分析と精神力動的な理論 ・精神力動的セラピーの主要な方法	事前学習	テキスト pp.94～110 を読んで、精神分析と精神力動的セラピーについて理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	精神分析と精神力動的セラピーについて参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第１１回	・認知行動療法とは ・認知行動療法の主要な理論 ・認知行動療法の主要な方法	事前学習	テキスト pp.112～125 を読んで、認知行動療法について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	認知行動療法について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第１２回	・事例研究（発達障害）	事前学習	事前に配布された事例文献をよく読み、自分なりの理解をしておく。
		事後学習	理解した内容をレポートにまとめて提出する。
第１３回	・家族療法とブリーフセラピー ・表現療法 ・統合的・折衷的アプローチ	事前学習	テキスト pp.127～142 を読んで、家族療法・ブリーフセラピー・表現療法におけるクラインエントの不安について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	表現療法について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第１４回	・心理学的支援法のプロセス ・心理支援の実際と留意点	事前学習	テキスト pp.142～164 を読んで、心理支援の実際・プロセス・留意点について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	心理支援の実際・プロセス・留意点について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。
第１５回	・補足（倫理的側面、心の健康教育） ・知識的学習と体験的学習 ・まとめ	事前学習	テキスト pp.166～174 を読んで、知識的学習と体験的学習について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	倫理的側面、心の健康教育について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。